

クロアチア トロギールの旅

会員 石岡 卓二

今年は、JTBがJALのチャーター便を手配し、クロアチアを含めたアドリア海に面した大陸側の地域を通過する団体バス旅行を大量に実行したようですので、参加された会員の方もいらっしゃるかとも思います。重複するかもしれませんが、悪しからずご了承ください。

1) 行き方

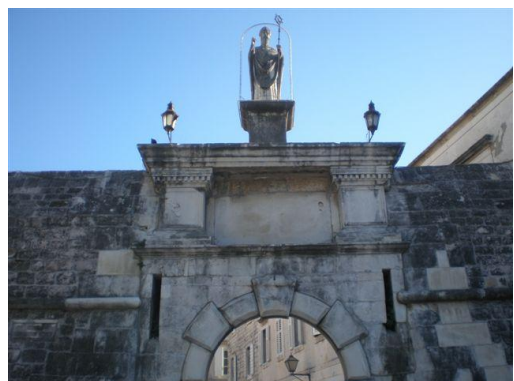
今回はスプリット、長距離バスターミナルから路線バスに乗りました（約45-50分）。ドブルニクからスプリット経由でトロギールに直接入ることができます。スプリットからのバス乗り場は2箇所あり、港のそばの長距離バスターミナルとスプリット内陸側の近郊バスターミナルです（これがメイン）。トロギールからのスプリットまでの帰りはバスターミナルからの近郊バスとなります。従って、スプリットでの到着地は中心部から少し離れ、オフィス街といった雰囲気のある場所になります。スプリット空港がトロギールの近くにあるようですが、便数は少ないようです。ザグレブからのバスも使えそうです。バスの切符売り場はありませんので、切符は乗ったバスの運転手から購入し、バスの運行に関しては、時間待ちをしているバスの運転手に聞くのが一番手取り早い確認方法です。客待ちタクシーは、気が回らず確認できていません。（スプリットでは、港のフェリーの近くに客待ちタクシーが多数ありました。）

2) 町で見るもの



a:門

トロギールは島で、現在は橋が3本かかっています。少なくともその内の1本には、車は通れません。バス停から一番近いものは車を通してあります。北門はその入り口にあります。





その手前右手が野外マーケット（主に、野菜、果物 {生と乾燥}）が目につきました。
左手がバスターミナルになっています。

b: 聖ロフ口大聖堂 (St. Lawrence Cathedral)



この大聖堂の塔がこの町のシンボルです。

私はたまたま金曜の午後におじゃましましたが、この時間にサービスが行われていました。オルガン伴奏なしに混声



での唱も歌われており、場内を勝手に歩き回って写真を撮ったり、観光するという雰囲気ではありません。内部は全体にくすんでしまっていますので、飾ってある絵も見ずらく、時間がかかります。大聖堂入り口には、彫りの浅い彫刻が多数彫られています

隣に時計塔の付いた建物があります



c: カメルレンゴの砦(Citadel Kamerlengo)



この島の北門の反対側にあり、非常に小さく、歴史があるとは言えるものの、昔、使用されていた実用的な砦で、美術的にはあまり見るものはなさそうです。

3) 食べ物

港の縁にも屋外（屋台と言いたいような）レストランが多数あります。夏はここで、穏やかな海風に吹かれながら、時期に獲れる魚のグリルと地元のワイン（注：これはトロギールでの写真ではないのですが、料理の性格は同じです）でしょう。但し、パンはどういうものか塩味がきつく、あまり量は食べられません。（記：9/22/2009）



引用：

- 1) 地球の歩き方(2008-2009年版) （3ページの紹介記事がありますが、現地で入手できる案内地図をもとに歩いてください。）
- 2) www.trogir-online.com （英語ですが、歴史的な背景も大雑把に記載してあります。）
- 3) Tabillar （H I S ロンドン支店、2009年版）